

◆◆ 種類別明細書（増加資産・全資産用）の記載例 ◆◆

○令和6年1月2日～令和7年1月1日に取得した資産を記載してください。
（他の市町村から移動した資産や申告もれ資産も含みます。）
○初めて申告される方は、令和7年1月1日現在の全資産を記載してください。

増加資産のみを申告する場合は「増加資産」、全資産を申告する場合は「全資産用」を○で囲んでください。

明細書の枚数と何枚目かを記載してください。

申告年度を記載してください。

所有者コード
本山町で付番された所有者コードを記載してください。
新規の場合は空欄で結構です。

資産の種類
1 構築物
2 機械及び装置
3 船舶
4 航空機
5 車両及び運搬具
6 工具器具及び備品

資産の名称等
該当資産の名称、規格等を資産の種類順に記載してください。

数量
資産の数量を記載してください。

取得年月
年号は下記のとおり、和暦で記入してください。
2…大正
3…昭和
4…平成
5…令和

令和7年度		所有者コード		種類別明細書（増加資産・全資産用）										所有者名				1枚のうち	
		0000999999												本山食品（株）				1枚目	
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価格				耐用年数	減価残存率	価 格	課税標準の特例	課税標準額	増加事由	摘要	
					年号	年	月	十億	百万	千	円			十億	百万	千	円		
01	1		本社工場敷地フェンス	1	5	6	4	2	555	200	10							○・2	
02	1		広告塔	1	5	6	4	4	821	000	20							○・2	
03	2		小型アキュームコンペア	1	5	6	4		920	600	8							○・2	
04	2		洗浄機	1	5	6	4	6	640	000	8							○・2	
05	6		パソコン	1	5	6	12	175	000	4								○・2	
06	6		コピー機	1	5	6	12	963	000	5								○・2	
07	6		食器洗浄機	1	4	30	4	770	000	6								○・2	
08																		○・2	
09																		○・2	
10																		○・2	
11																		○・2	
12																		○・2	
13																		○・2	
14																		○・2	
15																		○・2	
16																		○・2	
17																		○・2	
18																		○・2	
19																		○・2	
20																		○・2	
小 計				7				16	844	800								○・2	

この欄は記載不要です

減価残存率～課税標準額
電算処理による申告を行う方のみ記入してください。
それ以外の方は記入不要です。

増加事由
該当する番号を○で囲んでください。
1 新品取得
2 中古品取得
3 移動による受入れ
4 その他

耐用年数
該当資産に適用する耐用年数を、法定耐用年数（「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」別表）に基づいて記載してください。
※見積耐用年数により償却している中古資産は、その耐用年数を記載してください。
※短縮耐用年数により償却している資産は、国税局長の承認通知書の写しを添付し、その耐用年数を記載してください。
参照：手引き11ページ

摘要
「申告もれ」や課税標準の特例の適用条項等、参考となる事項を記載してください。

取得価格
資産を取得するために要した費用（引取運賃・運送保険料・購入手数料・据付費等の付帯費含む。）を記載してください。
※圧縮記帳不可
※消費税の取扱い
・税込経理方式 → 取得価格に含める
・税抜経理方式 → 取得価格に含めない

資産の種類
構築物…………… 1
機械及び装置…………… 2
船 舶…………… 3
航空機…………… 4
車両及び運搬具…………… 5
工具器具及び備品…………… 6

注意 ・「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 申告もれ、5 課税標準の特例の適用条項等、参考となる事項を記載してください。
・年号→ 昭和…3、平成…4、令和…5

小計
小計は申告書の「前年中に取得したもの（ハ）」の合計欄と同額になります。